

**研究名：** 停留精巣術後の微小石灰化の発生頻度と発生リスク因子について

## 1. 研究の目的

停留精巣の術後に精巣を超音波検査すると一部に精巣内に微小石灰化が認められることが最近注目されている。当院で経過観察している停留精巣術後の児で微小石灰化の発生頻度とその発生リスク因子について検討する。

## 2. 研究の方法

- ①研究対象：当センターにて1982年4月～2017年3月までに停留精巣と診断され精巣固定術を受けた方
- ②研究方法：後方視的研究

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、検査データ、合併症の発生状況、等

## 4. 情報の公表

日本小児泌尿器科学会雑誌に論文として公開する予定です。

## 5. 研究実施機関

群馬県立小児医療センター

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター外科 西 明  
住所：群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地  
電話：0279-52-3551

○研究責任者：

群馬県立小児医療センター外科 西 明